

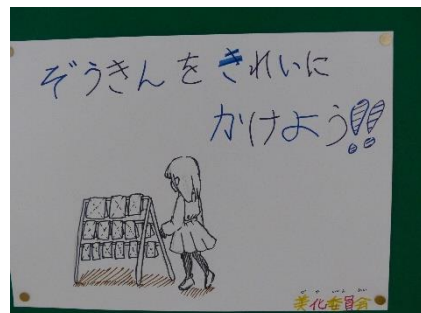


未来を夢見て Season 2

2021/6/23 No. 84

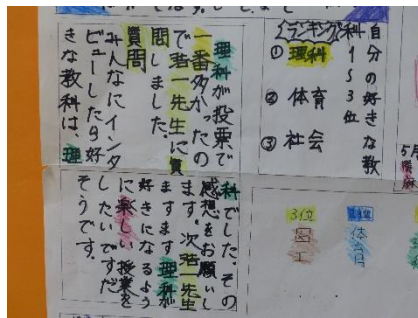
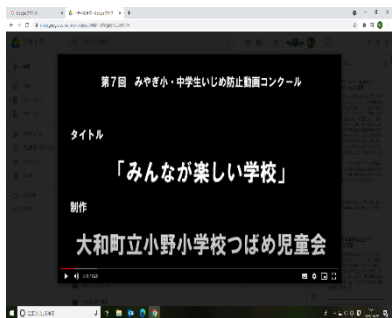
「みんなが楽しい学校」～校旗掲揚 つばめ児童会の活動 好きな教科ランキング～

6月23日(水)、梅雨空の1日となりました。開校30周年を記念して6年生にお願いしている毎日の校旗の掲揚も、だんだんスムーズになってきたようです。見ていると簡単な作業に見えますが、旗がたるまないように紐で結んだり、ポール最後まできちんと上げたりする「当たり前のこと」もそんなに簡単なことではありません。開校記念日でお話したように、校旗はためく下校章に込められている全校児童が心一つにして仲良く生活する、そんな思いと小野小学校の児童としての誇りをもって毎日生活してほしいと願っています。



コロナ禍ではありますが、子供たちの学校生活も動き出し、各委員会でも活動が始まりました。写真は美化委員会さんが作成した素敵なポスターです。また、つばめ児童会では、いじめ防止動画コンクールに応募するための動画を作成しました(Google Driveの中に保存されています。みなさんもぜひ見てください)。

子供たちが自分たちで考えた「楽しい学校」が紹介されています。ぜひ先生方も子供たちと一緒にいじめのない学校について考えてみてください。



さて、児童会活動や委員会活動のねらいは「自主性を育てる」ところにあります。一方、自主性を育てるためには、子供たちに任せきり(「丸投げ」)では育ちません。特活の精神は「為すことによって学ぶ」。特活では、教師の関わりが重要で、子供たちと一緒に計画を立て、やってみて、振り返って、またやってみる・・・。そんな繰り返しの中でこそ子供たちに自主性は育っていくものではないでしょうか。

最後に、6年生の廊下に6年生の新聞が掲示してあったので読ませていただきました。私の目をひいたのは「自分の好きな教科ランキング」。多くの場合、断トツで「体育」の場合が多いのですが、本校の6年生では「理科」が1位に選ばれていました。もちろん皆さんご存じのように、これは高学年理科専科の菅原浩一先生の類い希な指導力と人間性が子供たちに評価されていることが要因の1つです(多分・・・)。子供たちの理科離れが叫ばれて久しくなりますが、今回の調査を見る限り、小野小学校ではむしろ「サイエンス・スクール」の可能性さえ秘めているようにも感じます。

今日もいつもの理科室から「んだべ。おめだず、わがってんのが・・・」何とも難解なフレーズが聞こえてくるのではありますが・・・。(文責：手代木)